

令和5年度 認定こども園貢川幼稚園 自己評価結果報告書

1. 重点的に取り組んだ目標と評価について

・ 目標

昨年度までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んできたが、5類感染症に移行することから、子ども同志の触れ合いの機会を増やし、保護者に園での様子を伝える行事も徐々に行うようにする。

また、コロナ禍の生活が長く続き、子どもたちの体力や機敏性の低下を感じるため、遊びを通して身体能力の向上を図る。

・ 評価

新型コロナウイルス感染症の感染がまだあるため、密を避けながらではあったが、活動中に少しずつ子ども間の距離を近くしていくことが出来、触れ合いの機会も多くなったと感じる。

一番大きく変わったのは、給食時にパーテーションを置かなくても良くなったことで、子どもたちの会話も増え、給食が楽しい時間となった。保育者がパーテーションを設置したり消毒したりする労力も減り、食育に力を入れられるようになってきた。

また、子どもたちの身体能力の低下については、実際にどの機能が低下しているのかを知るため「スポーツチャレンジ」と名付けて運動機能の測定を行った。測定の結果、7月の時点では、個人差がとても大きく、コロナ禍の各家庭での運動量も大きく影響していると予測したが、その後、園でも運動量の多い遊びが出来るように意識したところ、2月の時点では、全体的に運動能力の測定値が高くなった。

2. 自己評価結果について

・ 評価方法

教諭が各自自己評価を行い、全体の集計を出す。

・ 評価結果

全教諭の平均

(5 : とても良い、4 : 良い、3 : 普通、2 : 多少不十分、1 : 不十分)

	評価項目	評価
I	保育の計画性	3.7
II	保育への在り方、幼児への対応	4.0
III	教師としての能力・良識・適正	4.2
IV	保護者への対応	4.2
V	地域の自然や社会とのかかわり	3.1
VI	研修と研究	3.3

3. 今後の課題について

評価結果では、地域の自然や社会とのかかわりの項目で、低い結果が出た。

今年度は、園外の地域の人（小学生・高齢者を含む）と関わる機会が持てなかったため来年度は、感染症の拡大状況を見ながら、積極的に関わっていく。

4. 財務状況について

学校法人会計について、適切な会計処理がされている旨、公認会計士から報告されている。